



[花き部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

### 3. 10月上旬から開花するF<sub>1</sub>青花晩生リンドウ新品種「岡山RND6号」の育成

[要約]

リンドウ「岡山RND6号」は、F<sub>1</sub>青花新品種である。真庭市蒜山地域では、「おかやま夢りんどう」シリーズの中で最も遅い10月上旬から10月下旬に開花するササ系晩生品種である。

[担当] 農林水産総合センター農業研究所 高冷地研究室

[連絡先] 電話0867-66-2043

[分類] 技術

[背景・ねらい]

本県は西日本一のリンドウ産地である。これまでに農研では、6～10月までの県オリジナル品種による連続出荷体制を確立するため、F<sub>1</sub>青花極早生、早生、中生等の品種を育成してきた。これまでの出荷体制を更に強化し、産地の発展に寄与するため、既存のオリジナル品種が開花しない時期の新たなササ系晩生品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 「岡山RND6号」は、農研で交配、育成したF<sub>1</sub>青花晩生品種である。
2. 真庭市蒜山での開花時期（2021年、2年生株）は10月上旬から10月下旬で、平均開花日は、対照品種の「深山秋」よりも遅く、「おかやま夢りんどう」シリーズの中で最も開花が遅い（表1）。
3. 花冠裂片の表面の色はStrong Violet（RHS：N94A）で「深山秋」と比較して紫色が強く、花冠の外面上部の色はStrong Purplish Blue（RHS：94B）で「深山秋」と比較してやや濃い。花冠の外面上部の斑点はなく、開花した花卉の先端は外反する（表1、図1、図2）。
4. 「岡山RND6号」は「深山秋」と比較して2節以上の側枝が多く、草丈が長く、茎数は「岡山リンドウ2号」（4.3本/株）と同程度である（表1）。
5. 花冠裂片の表面の色は20個体中17個体が94A、3個体が93Bに分離し、花冠外面上部の色は、20個体中12個体が94B、8個体が92Aに分離する。

[成果の活用面・留意点]

1. 開花時期や生理障害の発生は、栽培場所や生育時の気象条件により変化する。
2. 主要病害に対する耐病性は未確認である。
3. 花冠裂片及び花冠外面上部に色の分離が見られるため、品種登録はしない。
4. 県オリジナル品種の愛称は関係機関と協議の上、全て「おかやま夢りんどう」に統一し、「岡山RND6号」は必要に応じて「おかやま夢りんどう（岡山RND6号）」と記載することとしている。



[具体的データ]

表1 「岡山RND6号」の主な特徴（2年生株）

調査項目		岡山RND6号	深山秋	
草姿	草丈 (cm)	122.8	94.3	
側枝	1節側枝発生数	3.2	8.2	
	2節以上の側枝発生数	6.8	2.4	
茎数	本/株 <sup>2</sup>	4.3	-	
葉	葉長 (cm)	7.6	8.2	
	葉幅 (cm)	2.5	3.3	
	葉身の形状	披針形	披針形	
	葉表面の色 (RHS)	Moderate Yellow Green (146C)	Moderate Yellow Green (146C)	
花	花冠裂片の表面の色 (RHS)	Strong Violet (94A)	Strong Blue (N95B)	
	花冠の外面上部の色 (RHS)	Strong Purplish Blue (94B)	Light Violet (94D)	
	花冠の外面上部の斑点の粗密	無	無	
	花冠の形	釣鐘型	釣鐘型	
	花冠の長さ (cm)	4.6	5.2	
	花冠の直径 (cm)	2.6	3.8	
	花冠の先端の反り	外反	外反	
	開花始め	10月8日	9月8日	
開花期	平均開花日	真庭市蒜山 10月18日	10月6日	
	開花終わり	10月26日	10月24日	
	50%開花日 <sup>y</sup>	井原市	10月15日	-
		新見市 鏡野町	10月25日 10月18日	- -
着花特性	頂部の花の数	5.4	5.3	
	花段数	10.4	7.2	

注) 播種：2020年3月6日、定植：2020年5月25日

施肥：N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=1.2-1.0-1.5 (kg/a) とし、慣行栽培した

<sup>2</sup>2023年2年生株のデータ

<sup>y</sup>開花率が50%を超えた日（2022年2年生株のデータ）



図1 「岡山RND6号」  
の切り花



図2 「岡山RND6号」の花色の分離  
上：花冠裂片表面の色（左 94A、右 93B）  
下：花冠外面上部の色（左 94A、右 92A）

[その他]

研究課題名：岡山県の気候に適したリンドウの新品種育成

予算区分・研究期間：県単・平29年度～継続

研究担当者：竹岡みのり、林祐貴